

令和2年度使用 小学校外国語（英語）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p><活動場面の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Unit が4つのステップで構成されており、それぞれに目標が提示されていることで、児童がゴールを意識して学習することができる。学習活動が豊富である。 <p><資料の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ QR コードの音声や映像が充実しており、英語に慣れ親しむ工夫がされている。別冊の「Picture Dictionary」に単語や基本表現がまとめられており、活用しやすい。 <p><授業を通しての自己評価について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学期毎に学びを振り返り、伝える力を確かめる「Check Your Steps」がある。毎時間の振り返りは、ワークシートが準備され、必要に応じて活用できる。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 編著者に、学習指導要領解説作成協力者が1名いる。
開隆堂	<p><活動場面の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞く・読む・話す・書く」場面がはっきり分かれている。各場面で段階的に学ぶことができるようアクティビティが計画的に配置されている。 <p><資料の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> △ これまで使用してきた教材にある「Let's Try」に形式が似ている。1時間の区切れが分かりにくいので、授業計画の工夫が必要である。 <p><授業を通しての自己評価について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Lesson の最後で、育成すべき資質・能力に基づいた観点で振り返りを行うことができる。巻頭の「CAN-DO」マップで、できるようになったことを確かめられる。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> △ 編著者に、学習指導要領解説作成協力者はいない。
学校図書	<p><活動場面の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Lesson を3つのステップに分け、段階的に学べる工夫をしている。「Small Talk」の内容が具体的に示されており、活動に取り組みやすい。 <p><資料の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Step の活動に沿って、音声を聞いたり紙面上に書き込んだりして授業を進めることができる。毎時間、基本表現が記載されており、授業が展開しやすい。 <p><授業を通しての自己評価について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Lesson の最後に「Check Time」があり、育成すべき資質・能力に関連した4観点について、3段階で振り返りを行うことができる。自由記述欄もある。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 編著者に、学習指導要領解説作成協力者が1名いる。埼玉県教育委員会主催の研修会指導者がいる。
三省堂	<p><活動場面の充実について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学期が「Hop・Step・Jump」という段階的に学べる構成となっている。最後の「Presentation」では、「聞く・話す」の活動が具体的に示されており分かりやすい。 <p><資料の使いやすさについて></p> <ul style="list-style-type: none"> △ 紙面上に書き込みながら活動できるが、単語や文を書く場面が少なく、別にワークシートを用意する等、英語を書くための工夫が必要である。 <p><授業を通しての自己評価について></p> <ul style="list-style-type: none"> △ 「CAN-DO」リストと、各学期の最後に「まとめとふりかえり」はあるが、毎時間の

	<p>振り返りがなく、評価がしづらい。</p> <p><その他></p> <p>○ 編著作者に、学習指導要領解説作成協力者が2名いる。</p>
教育出版	<p><活動場面の充実について></p> <p>○ 各 Lesson が4つに分かれている。聞く活動が豊富で、英語を優しく無理なくインプットし、段階的に言語のスキルを身に付けられるよう工夫している。</p> <p><資料の使いやすさについて></p> <p>○ 絵カードだけでなく、アクティビティで使えるワークシートの付録や別冊のワークブックなど、授業をサポートしてくれる教材が豊富である。</p> <p><授業を通しての自己評価について></p> <p>○ 各 Lesson の最後に振り返りがあり、育成すべき資質・能力に基づいた観点で振り返りを行うことができる。付録のワークシートにも振り返る場面がある。</p> <p><その他></p> <p>△ 編著作者に、学習指導要領解説作成協力者はいない。</p>
光村図書	<p><活動場面の充実について></p> <p>○ 各 Unit が4段階のスマールステップで構成されている。学習活動では、ペアやグループで活動することを示すことで、コミュニケーションを図るよう工夫している。</p> <p><資料の使いやすさについて></p> <p>○ スマールトーク等、相手とのやり取りが必要な場面では、デジタル教科書の映像資料を活用することで、視覚的に理解させることができる。</p> <p><授業を通しての自己評価について></p> <p>△ 各 Unit の最後に、「CAN-DO」として、自己評価（知識・技能）をする場面がある。「考え・深める」評価もあるが、児童の考えを引き出すには教師の工夫が必要である。</p> <p><その他></p> <p>△ 編著作者に、学習指導要領解説作成協力者はいない。</p>
啓林館	<p><活動場面の充実について></p> <p>○ 各 Unit が3つの場面に分かれ、「聞く・話す」活動を中心に、「読む・書く」活動もバランスよく配置されている。授業の流れがパターン化され、見通しを持ちやすい。</p> <p><資料の使いやすさについて></p> <p>○ 自分の考えを紙面上に書き込みながらアクティビティを進めることができるので、分かりやすい。書く活動は、ワークシートを活用すれば、より効果的に指導できる。</p> <p><授業を通しての自己評価について></p> <p>○ 毎時間、目標に対する達成度を記入する欄がある。各 Unit の最後に、育成すべき資質・能力に基づいた観点で振り返る欄と、自分の考えを記入する欄がある。</p> <p><その他></p> <p>△ 編著作者に、学習指導要領解説作成協力者はいない。</p>